

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 卷 第 2 号

第 2 週(1月 8日 ~ 1月14日)

発行年月日:平成19年(2007年) 1月 19日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

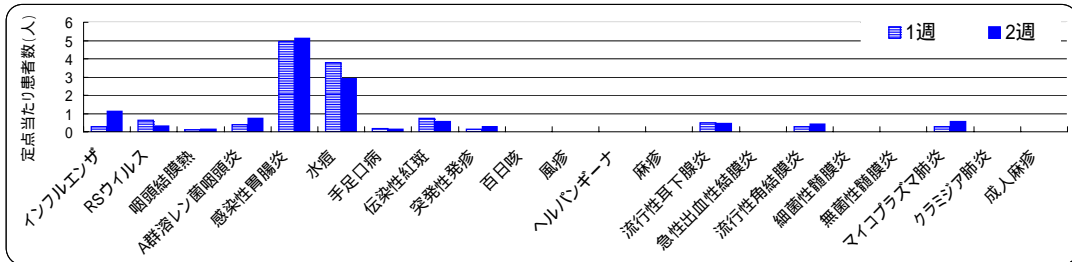
今週の感染症発生動向

**感染性胃腸炎の発生は注意報発生基準値以下持続
インフルエンザの発生は微増!**

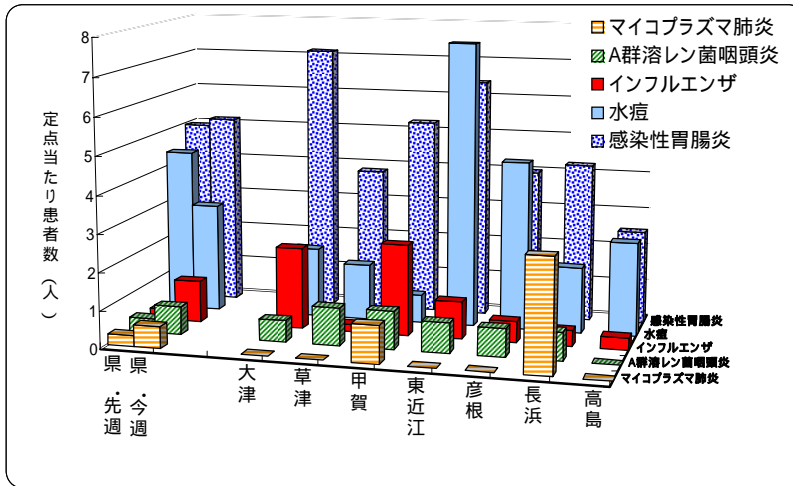
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第 1週(1月 1日 ~ 1月7日)の報告数よりやや多くなっています。増加した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、マイコプラズマ肺炎等です。その他の疾患については減少または横ばいとなっています(詳細について、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、咽頭結膜熱、水痘および伝染性紅斑(リンゴ病)に流行発生警報が発生しています。
全数把握対象疾患では、五類感染症アメーバ赤痢 1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



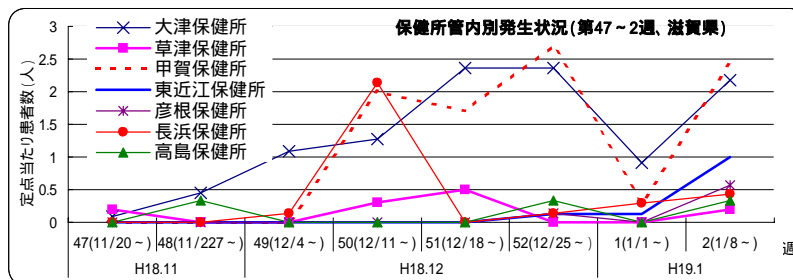
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第2週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は大津、甲賀および東近江で多い状態です。水痘は東近江で、インフルエンザは大津および甲賀で多くなっています。

インフルエンザの保健所管内別発生状況(平成18年第47~平成19年第2週、H18.11.20~H19.1.14)



第50週以降、大津および甲賀保健所管内では他の保健所管内より多くなっています。また、第2週における年齢別発生割合は、各年齢層で大きな違いはみられません。

警報・注意報発生状況

感染性胃腸炎の警報発生状況

平成18年第46週以降連続して発生していた流行発生警報は、先週に引き続き全ての保健所管内において定点当たり患者数が警報発生基準値以下(定点当たり患者数12.00)になりました。

水痘の警報・注意報発生状況(平成18年第48週～平成19年第2週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生
48週	2.34		2.00		1.00		0.75		3.40		7.25		1.50		0	
49週	2.47		1.43		0.17		1.00		6.80		5.50		1.50		1.00	
50週	3.66		1.00		0.83		1.75		9.80		6.75		4.25		2.50	
51週	3.13		1.14		0.33		2.00		10.20		3.75		2.50		3.00	
52週	4.25		3.71		1.50		0.50		8.60		10.25		2.50		2.50	
1週	3.78		3.86		1.50		6.25		8.00		4.75		0.25		0	
2週	2.91		1.86		1.50		0.75		7.60		4.50		1.75		2.50	

：警報発生中 ：注意報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が7人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が4人以下になるまで継続して出されます。
注意報発生基準値：定点当たり患者数が4人以上という基準値を超えた時に出されます。

伝染性紅斑の警報発生状況(平成18年第49週～平成19年第2週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生
49週	0.75		0.29		0.67		0.25		0.60		2.75		0		1.50	
50週	0.47		0.29		0.33		0		0.20		2.25		0		0.50	
51週	0.47		0.14		0.17		0		0.80		0.75		0		3.00	
52週	0.59		0.14		0.33		0		0.80		1.50		0		3.00	
1週	0.72		0.57		0.67		0		1.20		1.25		0		2.00	
2週	0.56		0.43		0.50		0.50		1.00		0.50		0.25		1.00	

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が1人以下になるまで継続して出されます。

咽頭結膜熱の警報発生状況(平成18年第51週～平成19年第2週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生	定点当たり患者数	警報発生
51週	0.69		0.43		2.33		0		0.40		0		0.50		0.50	
52週	0.28		0.14		0.17		0		0.40		0		0.75		1.00	
1週	0.09		0.14		0.17		0		0.20		0		0		0	
2週	0.13		0		0.33		0		0		0		0.50		0	

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が0.1人以下になるまで継続して出されます。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

流行発生警報

流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報

流行発生注意報という表現により今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

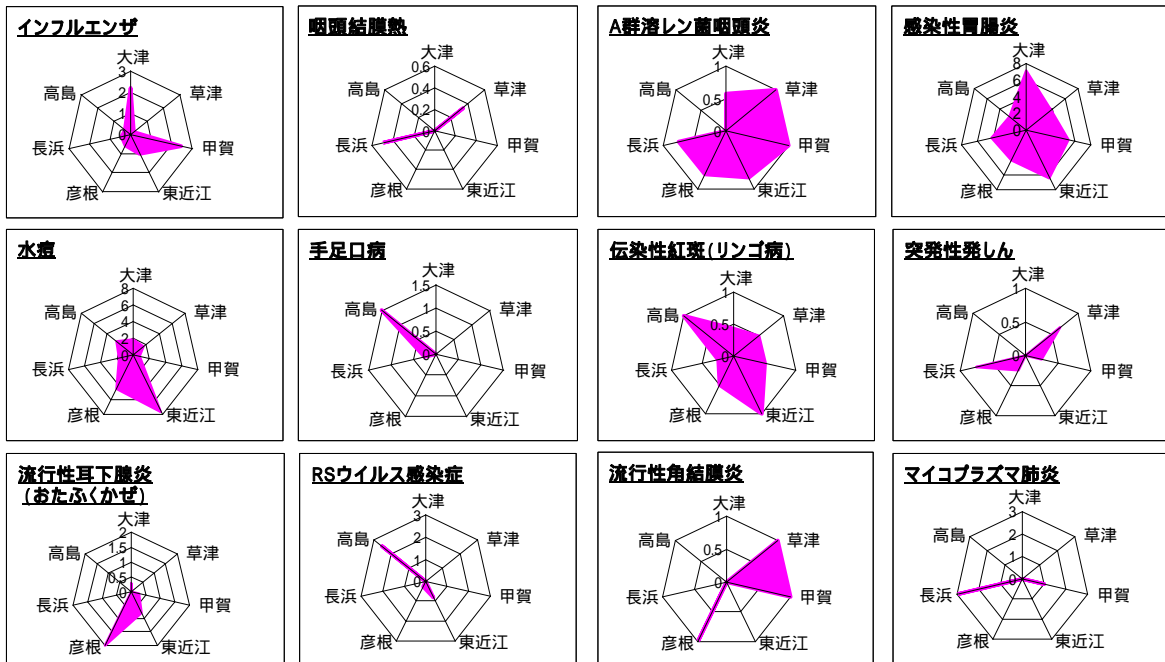
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第2週、1/8～1/14)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.11	2.18	0.20	2.43	1.00	0.57	0.43	0.33	
RSウイルス感染症	0.31	0	0	0	0.80	0.25	0	2.50	
咽頭結膜熱	0.13	0	0.33	0	0	0	0.50	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	0.57	1.00	1.00	0.80	0.75	0.75	0	
感染性胃腸炎	5.13	7.14	3.83	5.25	6.40	4.00	4.25	2.50	
水痘	2.91	1.86	1.50	0.75	7.60	4.50	1.75	2.50	
手足口病	0.13	0	0	0	0	0	0.25	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.56	0.43	0.50	0.50	1.00	0.50	0.25	1.00	
突発性発しん	0.28	0	0.67	0.25	0	0.25	0.75	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.29	0	0.25	0.80	2.00	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	1.00	1.00	0	1.00	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	1.00	0	0	3.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中

0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

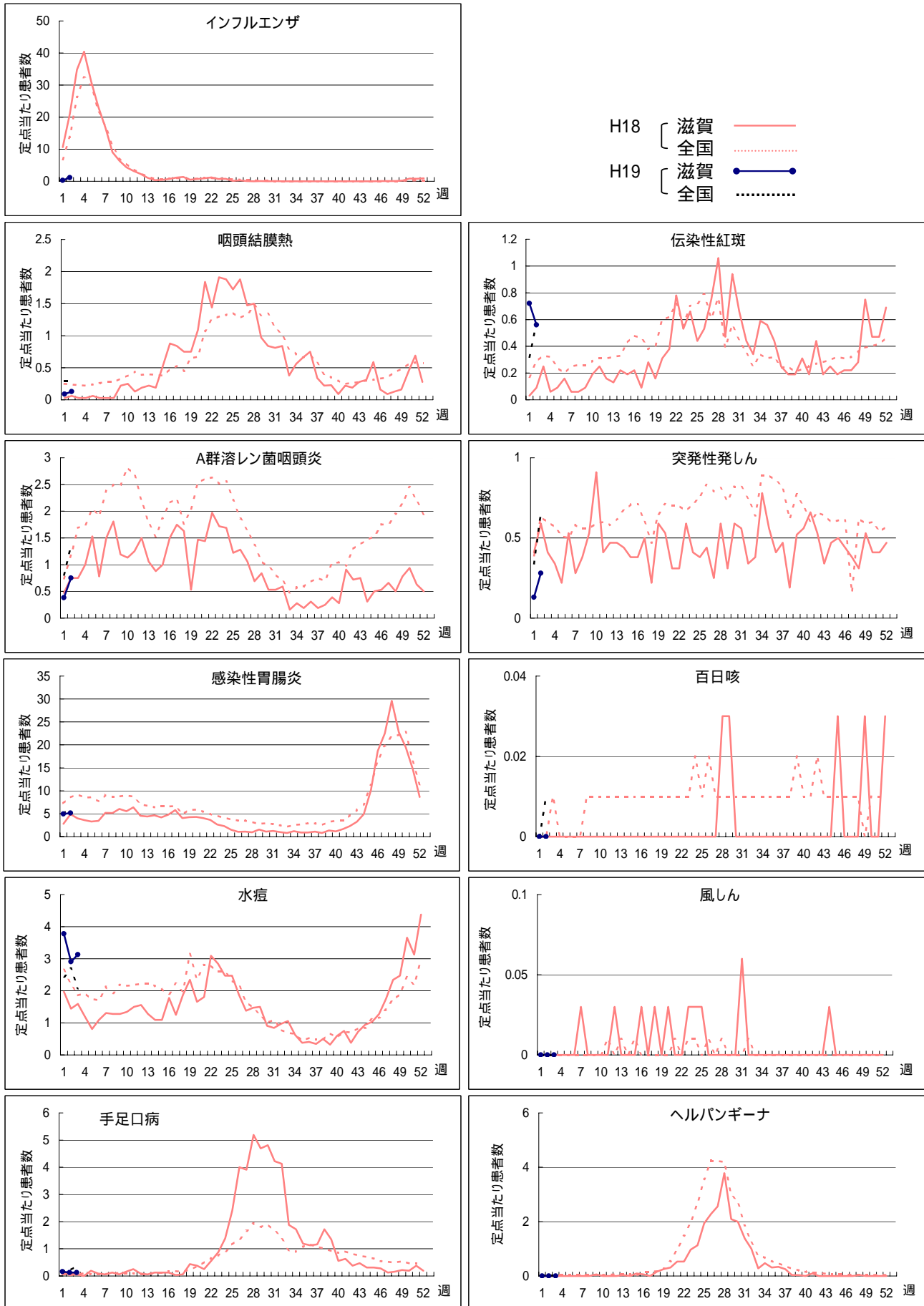
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----大津および甲賀で再び多くなっています。
- 咽頭結膜熱-----草津および長浜から報告されています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 高島以外の保健所管内で先週より微増となっています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週とほぼ同様の発生状況ですが、大津、草津および長浜で増加しています。
- 水痘-----先週多かった甲賀で急減していますが、高島では増加しています。また、東近江では定点当たり患者数が7.60と多い状態が続いています。
- 手足口病-----先週とほぼ同様の発生状況です。
- 伝染性紅斑-----高島では先週より減少していますが、流行発生警報は継続して発生しています。
- 突発性発しん-----県全体としては先週よりやや増加しています。
- 流行性耳下腺炎-----県全体としては先週とほぼ同様の発生状況ですが、彦根で先週よりやや増加しています。
- RSウイルス感染症-----先週多かった高島ではやや少なくなっています。
- 流行性角結膜炎-----草津、甲賀および彦根から報告されています。
- マイコプラズマ肺炎-----甲賀および長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第2週、H19.1.1～H19.1.14)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第2週、H19.1.1～H19.1.14)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—
 全国 - - - - -

